

南国市農業の未来像 の実施と 農協合併

農産部課長 徳 承 安 雄

昨年十二月三日、中央公民館において、「南国市農業の未来像」の発表会が行なわれましたが、その後各方面に大きな反響を呼び、新聞にも大きく取り扱われたのはご承知の通りです。ところでこの未来像の実現と、現在高知県下の各地で（南国市にても）農業界に大きな問題として取り上げられている農協合併問題と大きな関連性があります。従って合併問題を取り上げる前に「未来像」の内容を簡単に紹介いたします。

これは第一部と第二部に別れています。

南国市農業の未来像より

第一部 「市農業の問題点」

◆農業人口は激減している

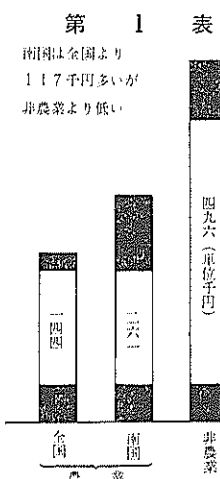
全国的に働いている人の中で、農業を行なっている人の数は昭和二十五年に四十八割であったものが、四十年には二十四割と半分になっています。これは就業構造の激減率で世界一の激減率となっています。ところで農業の中で、専業農家の減少率は昭和三十年から四十年の間で全国平均では四十三割となっていますが、南国市では四十九割と六割も多く減っています。

次に二種兼業農家（農業が片手間の農家）の増えようを見ると全

国平均が四十二割なのに、南国市は六十割で、実に全国平均より十八割も片手兼業農家が増えています。しかも農業従事者の中で、六十歳以上の老人と婦人の占める率から見て、全国は七十割なのに、南国は七十二・六割と「三チヤン農業」が全国平均より多くなっています。

以上のように、統計的推移から見ても、実際体験からいっても、南国市は十年もたずに、現在一万人でやっている農業を二千人前後の基幹農業者でこなして行かなければならぬのが、市の農業労働力の見通しとなっています。

◆農民平均所得は他の職業より低い



この所得の低さが農山村の人口減少の大きな原因となっています。人口の少なくなった農村の農業改革が進められて、少人数で高生産性の農業をやるならば、農民所得を急激に増すことも可能になるもので、見方によれば農民人口の減少は喜ぶべき現象であるといえます。

◆貿易自由化の波は農業にも迫っている

世界経済の流れは貿易自由化であり、日本の製造工業はこれに對抗して堂々と世界に進出しています。にもかかわらず農業のみが安んじているのは輸入におびえているのです。今はいかに米の食糧制度を始め、農業保護政策によって何とかやって行くことが出来ますが、OECD加盟国（先進国）の一員として、激しい世界経済の荒波の中で、今のような保護をいつまでも続けることが出来るかは大きな疑問であることは多くの識者の認めるところです。従ってわれわれ南国市農民が農業改革に取

第2表 米穀比較表

品名	150kg当り	340kg当り
バター	711円 (1kg当り 4740円)	298円 (1kg当り 1033円)
牛肉	345円 (1kg当り 200円)	200円 (1kg当り 1033円)
砂糖	5,765円 (60kg当り 96,083円)	3,639円 (60kg当り 60,650円)

国名	150kg当り	340kg当り
日本	16,375円	3440円
台湾	7,884円	
タイ	7,598円	
エジプト	2,376円	(1139円)
アメリカ	5,940円	(1139円)
イタリヤ	5,778円	

交通災害 保険の 実施へ

最近著しく目をひくものに交通安全の標識が急増したこと、その種類の多いことです。これは年とともに激増する交通事故を防止することが、今や社会問題、政治問題として重要な課題となってきたことを如実に物語っているといえます。

私たち地方自治体をあずかるものとして人命尊重を国民運動に交通事故の絶滅を期すべく昨年六月、全国市長会において、

交通事故（発生後二十四時間以内）で、死亡した人の数は、
 全国 一万三千八百九十五人
 高知県 百四十四人
 南国市 十七人

ですが、事故発生後二十四時間以後の死亡や後遺症のため一生不具になった数を加えると、不幸に苦しむ人たちの数は莫大なものにのほります。

別表が示すように、交通災害保険には、
 川口方式（直営方式）
 生協方式（神戸方式）
 損保方式
 の三方式があり、それぞれ長所短所をもちますが、人口の少ない小規模都市では、財政面、事務面、事故発生率や会員数、損保会社と財源関係（損保費）などからみて本市としては損保方式の採用を考えています。

交通事故は年ごとに激増の一途をたどっていますが、これは国の産業の発達や高度経済の成長などにと

もなる車両の増加によるもので、交通問題は国の重要な課題であるとともに地方自治行政にとつても重要な問題であるといえます。

ところで本市市民の救済措置として、市民総ぐるみの交通傷害保険の実施を研究していますが、近くこれを実施したいと計画をねています。

県下の交通事故（人身事故のみ）

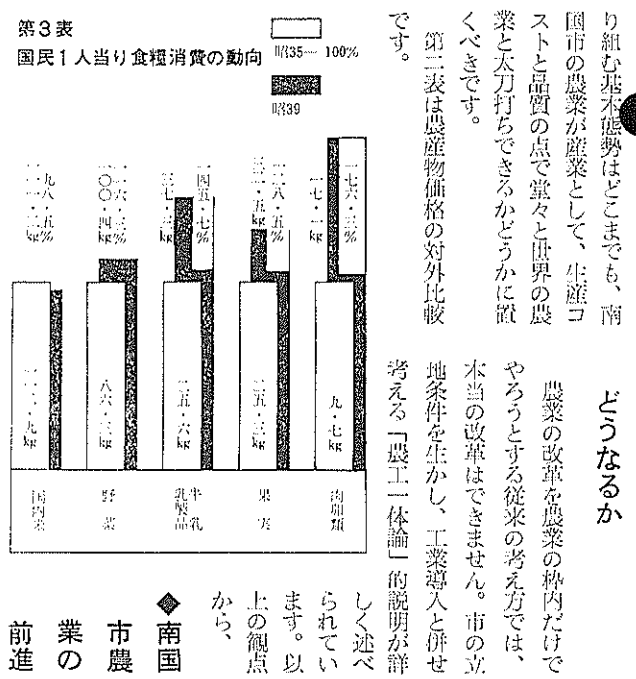
区分	件数	死者	傷者
42年1月～8月	2,550	88	2,771
41年	2,215	104	2,368
増減	+ 335	- 16	+ 403
増減率	+ 15.1	- 15.4	+ 15.3

全国の交通事故

区分	件数	死者	傷者
42年1月～8月	319,064	8,651	397,279
41年	270,138	8,957	328,991
増減	+48,926	- 306	+68,288
増減率	+ 18.1	- 3.4	+ 20.8

第2部 「南国市農業の未来像」

◆南国市の産業構造は



り組む基本態勢はどこまでも、南国市の農業が産業として、生産コストと品質の面で堂々と世界の農業と太刀打ちできるかどうかにか置かれます。

第二表は農産物価格の対外比較です。

農業の改革を農業の枠内だけでやろうとする従来の考え方では、本当の改革はできません。市の立地条件を生かし、工業導入と併せて考える「農工一体論」的説明が詳しく述べられています。以上の観点から、

第一にはさらに二期作と雇傭労働力の問題、物部川土地改良事業、都市計画などの諸問題を取り上げ、南国市農業の問題点を詳しく分析しています。この問題点の解決方策として第二部が登場してくるのです。

△大型機械化——これには現状では大きな抵抗があります。前述のとおり、激減する農民人口で、生産コストや品質の点から見ても、農業と太刀打ちして勝つためには多少の迂余曲折はあっても、基盤整備を先行させつつ、大型機械化以外に途はないといえます。

△畜産、野菜、果樹部門の拡大（第三表参照）これにも目下抵抗はあるが、国民食糧構造の急激な変化から考え、さらに先進国は農産物の中で畜産物が七十割であり、穀物などが三十割であるのに

農協合併は必要か!!

わが国はその逆で畜産物三十割、穀物など七十割である点から見て、また、畜産飼料の中で重要な位置を占める牧草の収量が、世界第一等であるという南州市の立地条件を生かす意味からも、この点に力を入れるべきです。

でバラバラに農業経営をおこなっているのは、労働力も土地も、資本も、効率的に使うことができません。優勝劣敗の国際競争にはみすみず敗者とならざるを得ないので、基礎条件を整え、適切な方法を取れば作業能率を数倍、あるいは十数倍に高めることも可能なのです。協業の実施について、農協が最も重要な役割を占めるのは各地の多くの事例が示している通りです。

このための構造改善予算八十九億円を計上した内容を詳しく述べたのがこの項です。

たは、各種団体は組合に対していろいろの要望があるようです。これを要約しますと、

- 期待した効果
組合員に対する奉仕の拡大
大量購買によるコストダウン
各種施設の設置
貸付金利の引き下げ
優秀な職員で、組合員のための事業体制の強化
このような、目標と期待を持って合併が行なわれました。しかしなかなかうまく予定通りには進みませんでした。次のことが実行されました。

農協合併は必要か!!

農協合併の歴史と現状

現在の農協の母体は産業組合であって、明治三十三年、産業組合法の施行と同時に日本全国に一万二千組合が組織されたものです。小作、地主の対立、高率年貢米の強制徴収による小作農民の苦難の歴史の中であって、幾度か盛衰の大きな波を経つつ、政府の農政執行の強力な組織として使命を果たしてきたものです。この産業組合は戦時中に農協会となりましたが、終戦後の昭和二十二年に農協法の施行によって農協に衣替をし、農地解放によって生れた自作農民の民主的組織として発展し、現在に至っているものです。産業組合以来六十余年、立場の違いによって功罪をそれぞれ批判はあるにしても多くの困難を乗り越えて、郷土の先輩、篤農有志の努力によって維持発展してきたこと、また、現在組合事業の中心的役割を占めている信用事業は、現在の役員さん方の信用のうえに成り立っているということなどを考えるときに、私たち後輩は大いなる感激を覚え、深く感謝するものであります。

営んでゆく時は早うととしているのではないのでしょうか。農民人口がナグレを打って激減して行く中に踏み止まった農民が国民の農産物生産の激変に対応して、①少人数生産性の高い農業を営営し、②これがため高度技術の指導、③農産物の販売、流通の調整、④激増する生産並びに生活資材の購買などを大資本事業体に対抗して、真に生産農民の利益のために活躍すべき唯一の組織体である農協の規模が現状のままでよいでしょうか。

増大する組合員の要望に答え続けることが出来るか
南州市には県下でもトップクラスの農協が多く、現状では何も苦勞して合併などしなくてもゆうゆうとやってゆけるのではないかと、お考えになられる方も無数からぬことでしょう。しかし前述「未来像」の中にもあるように、南州市農業の問題点の一つ一つを激変する経済社会の中で、独力で永い間解決し、担い続け行く力のある農協が果してあるのでしょうか。

町合併とは本的に違う農協合併
①支店を重点的に拡充
組合員は利益と利便をどのようにして向上させるかが合併の主目的であるので、支所(現各農協)サービスは現在より良くなっても悪くはなりません。本所は組合員に直接関係のない管理業務を中心として、この面が合理的、能率的に処理され、浮いた人員は窓口事務や直接サービス部門に配置することが出来ます。

合併による大量取り引きの有利性
久留米農協は婦人部と協力して市価二三百五十円、二百四十円の練炭を、二、三割安の百六十円で十四万ヶ予約注文で購入できたと。

農協合併は必要か!!

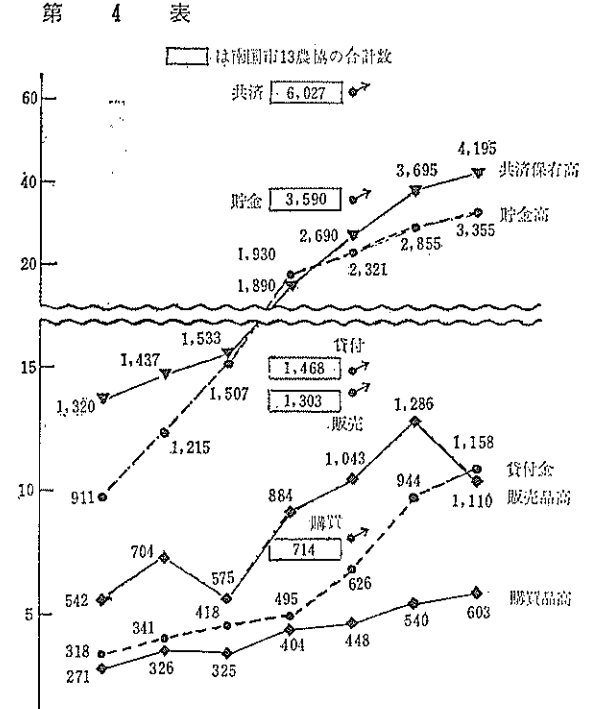
わが国はその逆で畜産物三十割、穀物など七十割である点から見て、また、畜産飼料の中で重要な位置を占める牧草の収量が、世界第一等であるという南州市の立地条件を生かす意味からも、この点に力を入れるべきです。

このための構造改善予算八十九億円を計上した内容を詳しく述べたのがこの項です。

たは、各種団体は組合に対していろいろの要望があるようです。これを要約しますと、

期待した効果
組合員に対する奉仕の拡大
大量購買によるコストダウン
各種施設の設置
貸付金利の引き下げ
優秀な職員で、組合員のための事業体制の強化
このような、目標と期待を持って合併が行なわれました。しかしなかなかうまく予定通りには進みませんでした。次のことが実行されました。

合併に対する組合員の反応
この点についてこの合併の主役を演じた、福岡県農協中央会管理課長の今村隆氏(元久留米農協理事)は、『個々の組合員に合併してよかったかどうかを聞いて見ても、『よかった』とはっきり言っ



久留米農協の場合
前記三つの考え方に従って、三千九百八十戸、十三組合が合併し、次のような効果をねらって発足しました。

- 合併に対する組合員の反応
①市価二三百五十円、二百四十円の練炭を、二、三割安の百六十円で十四万ヶ予約注文で購入できたと。
②学生服を岡山のメーカーから市価四千元のものを、二千四百円で供給
③東洋紡グイヤ毛糸を、市価の四割安で六万ポンド供給した。
④ダブルマット市価八千円を、五割安の四千円で供給した。
なお、合併後の各事業の進展状況は、第四表の通り。

合併前後の金利手数料対比

	須崎		土佐山田		安芸		南 国					
	合併前		合併前		合併前		昭40年					
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低				
信用貸付	3.3	2.8	2.6	5.0	3.5	2.8	4.0	3.0	3.3	3.4	2.7	?
担保	3.3	2.8	2.6	5.0	3.5	2.8	3.5	2.3	3.0	3.4	2.8	?
貯担	3.0	2.0	1.9	2.7	2.0	2.0	2.2	2.0	1.8	2.3	1.9	?
営農貸越	2.7	2.3	2.2	3.0	2.2	2.2		2.9	2.5			
購買手数料	0.077	0.063	0.074	0.09	0.05	0.035	0.13	0.10	0.008	0.107	0.058	?
販売手数料	0.027	0.023	0.023	0.014	0.009	0.015		0.0025		0.029	0.007	?

農協の使命と役割

手数料対比は第六表をざらんに
 以上で「南国市農業の未来像」
 の概要を述べ、その関連において
 農協合併問題を考え、さらに県内

外の事例報告をいたしました。
 間もなく南国市農協合併協議会
 も発足し、市内十三農協において
 も、総会が開かれる時期となりま
 す。この拙文が少しでも皆様が

新時代の
 農協の使命と役割

農業の未来像より

農協合併ということについてお考
 えになるヒントになれば、幸いこ
 れに過ぎるものほごさいません。
 最後に
 「未来像」
 の中で農業
 改革の中で
 農業が占め
 る使命と、
 役割につい
 て述べてい
 るところを
 ご紹介して
 終りといた
 します。
 これまで
 の農協のお
 もな事業は
 ①政府買
 付け米の取
 り扱い、②
 その米代金を基礎とする信用事業
 ③肥料、飼料その生活必需品の購
 売事業が主なもの、多くの農協は
 それだけに終始してきた。もちろ
 ん例外はあるが、真に時代が要請
 する農業生産力の発展と四つに取
 り組んでいる農協は数々あるもので
 あり農協の経営が農家の利益を
 犠牲にして黒字を出していること批
 判されている場合さえある。しか
 し、いまや時代は農協が農業の産
 業革命を遂行する主体となるべき

ことを要請しつつあり。農業の産
 業革命が、国の方針、企画および
 巨大な財政投融資によってまかな
 われる以上、そのレールを作り、
 新しい農業の骨格と肉付をするま
 では、行政機関と農業委員会がお
 もにこれに当るべきであろうが、
 これに血を通はせ神経を通じ、そ
 の発刺たる経営を指導するのは、
 農業者の組織である農協の役割で
 あるべきであり、その意味で農業
 革命の計画時代から、すでに農協
 が積極的に参加していることが最
 も望ましい。
 農業革命は文明的産業社会では
 どこの国でも行なはれ、避けるこ
 とのできない農業発展の一段階で
 ある。これをできる限り混乱と犠
 牲なしに遂行するには、個々の農
 家の努力、だけでは歯のたたない
 分野があまりにも多い。とくに農
 協の組織としての力にまつべき新
 しい技術と経営組織の革新が、農
 業革命の広大な分野として開けて
 いる。たとえば、農業革命は①大
 型機械化、②畜産、野菜、果樹部
 門の拡大、③協業化という三つの
 路線にそって展開されるべきもので
 あるが、これに必要な新しい技術
 と経営組織の革新は、農協のリー
 ダーシップなしに合理的におこな
 えるものはない。』

家庭・人間関係
 土地・相続・金銭
 などの

悩みごとは!!

相談日 毎週 月・水・金曜日
 特別相談日
 ◆毎月第4月曜日(午前9時～正午) 戸梶弁護士
 ◆毎月第1水曜日(婦人相談) 横田指導員
 相談員 八井田茂実・松下 仁・豊永茂春
 清水易嘉・近森静子

南国市心配ごと相談所

人はいない。しかし、合併前の個々の組合のままでやっていたら、考えられないほどの組合事業の伸びを考えると、組合員は直接には褒めてくれないが、貯金が殖え、購買扱い高が飛躍に殖えたことは、組合員が新組合にくれた、感謝状である」とまた、組合の成長については、組合の合併によって農民にオンブされる農協から、農民をオンブする農協になった」と語っています。

農協合併は必要か!!

第 5 表
 安芸農協など合併農協の事業進展状況と南国市の現況

(100% 内の数字は%, 単位億円)

農協名	安芸	土佐山田	須崎	久留米	南 国
事業名	2,643	1,841	2,740	3,986	4,797
貯金	713 284	311 248	1,029 176	1,215 202	3,590
貸付金	280 357	115 210	435 163	341 768	1,468
共 済	1,074 333	676 250	1,596 160	1,437 291	6,027
購 買	203 218	86 196	185 140	326 155	714
販 売	184 170	187 245	392 187	704 184	1,303

「安芸、土佐山田
 須崎
 各農協の場合」

▽農協の信用度が増加した、したがって信用事業を筆頭に、各事業量が合併前に考えられないほど増大した。

▽金利手数料の引き下げを行ない組合員に対するサービス強化をはかることができた。

▽支所機能の強化
 各支所のストアの新設、改築などとともに、また事務の集中管理により職員の余力を、窓口並びに外務サービスの強化が実現し意はれている。

「はたち」と国民年金

あるのが実情のようである。しかし、老後保障は若いときから準備しておく心がけが必要である。また最近のような交通戦争を考えると、いつ、いかなる事故に遭遇するかもしれない。このようなときの保障のためにも「成人」となられた機会に、もう一度国民年金制度の存在の意義を考えたいものである。



年金
 ポスト

い、加入の手続きは、市役所市民課の窓口へ「ははん」をさけて行けば、簡単にできます。
三五歳以上の方へのご注意
 今は老後や万一の場合の暮らしの安定は、年金制度によって支えられる時代です。
 そのため二十歳以上の方は、必ず何れかの公の年金制度に加入して将来に備え月々掛け金をしています。
 ところで各年金制度の老令年金は、一定期間以上掛け金をされているとき支給されます。
 国民年金では、掛け金済または掛け金免除期間を合わせて二十五年以上(ただし、昭和五年四月一日以前出生者は年齢に応じて二十四年から十年)の期間が必要で、国民年金の掛け金は、年四回の各納期から二年たった後は納めることができます。したがって、いま三十五歳以上で何の年金にも加入されていない方は、すぐ国民年金の加入手続きをされ老令年金を受けるに必要な掛け金年数を満たすよう、きちんと掛け金をいたしましょう。